

地域密着型サービス 運営推進会議

事業所名称…サンキ・ウェルビィグループホーム秋鹿・小規模多機能センター秋鹿

サービス種類…認知症対応型共同生活介護・小規模多機能型居宅介護

会議開催日時…令和 7年 11月 27日 11:00~12:00

開催場所…サンキ・ウェルビィ秋鹿応接室

出席者

事業所	2人	利用者	0人
利用者家族	1人	地域代表者	1人
松江市職員	0人	地域包括支援センター	1人
知見を有する者	0人	その他()	0人

① グループホーム秋鹿

介護度内訳

1ユニット(8名) (男性:5名、女性3名)

要介護1: 0名 要介護2: 1名 要介護3: 4名

要介護4: 3名 要介護5: 0名

2ユニット(9名) (男性:0名、女性9名)

要介護1: 0名 要介護2: 1名 要介護3: 3名

要介護4: 4名 要介護5: 1名

平均介護度: 3.4

1部屋空所あり。今月に1名逝去された。

人員不足が続いている

② 小規模多機能センター秋鹿

登録人数

21名 (男性:7名 女性:14名)

介護度内訳

要介護1: 4名 要介護2: 6名 要介護3: 6名

要介護4: 5名 要介護5: 0名 申請中・0名 平均介護度: 2.5

現在8名の空きがある状況。柔軟な小規模のサービスを利用し、在宅生活が継続できるサービスであることを、アピールしたい。

③ 活動報告(毎月の家族様宛のお便りを見ながら)

11月3日にグループホームと小規模合同で秋祭りを開催しました。職員の銭大子、楽器の演奏など勤務の合間で練習や家で練習を重ねて挑みました。昨年に引き続き出雲から石見神楽団に来ていただき迫力ある神楽を観ました。グループホームは、利用者家族様がたくさん来所され家族で過ごす大切なひと時となりました。神楽を見て「おっ！！いいぞー！」など声も出て、いつもとは違う表情を見れたと家族様から嬉しいお言葉もいただきました。小規模も家族様とみる方や、通いで仲良しの方とみて楽しまれました。見慣れたスタッフが演奏を頑張っている姿を見て「良かったよ～！」と声をかけてくださいました。昼ご飯は炊き込みご飯と豚汁を提供しみんなで食べて祭りを終わりました。

④ 身体拘束適正化委員会(小規模多機能・グループホーム)

グループホームは、身体拘束の基本的なルール。ゼロが一番望ましいが、万が一身体拘束を実施する場合はいろいろな決まりや細かい記録、主治医や家族と連携が必要なことなど話し合いました。
小規模はなぜ身体拘束が起きるかその要因や、見守りの方法、多職種との連携などについて話合いを実施しました。

⑤ その他意見交換

・ 民生委員様より

マンパワー不足が一番辛い部分だと思う。スタッフさんはみんな理想を持っていると思うが、人員不足でやりたいこともできないのではないか。次々ケアをしていってその合間に他の事務作業や、おたよりの作成とか介護以外の仕事も多いと感じる。行政等はこういった現実を知ってほしいと自分は思っている。認知症の方を毎日みて介護をして素晴らしい、よく頑張られていると感じています。

・ 家族様より

小規模多機能でお世話になっています。泊りの間はホッとできる。サンキさんでゆっくり過ごしているんだろうなど家にいても思っていて安心しています。

・ 地域包括支援センター様より

おたよりの中に「家族様からの嬉しいお言葉」など書いて発信してもいいのではないか。入居施設は家族から離れて生活している場所で見えにくさがあると思う。せっかく毎月おたよりを出されているので、利用者様の過ごし方だけでなく他の家族様からこんなうれしい言葉をかけてもらったなどポジティブな部分をもっと出していいともいいと感じる。

次回は 2026 年 1 月末予定 次回は小規模のサービス評価総括、グループホーム外部評価についてご協力いただきます。

※事業所確認欄

<input type="checkbox"/> 活動報告についての評価を受けることができたか。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 要望・助言等受ける機会を設けたか。	<input type="radio"/>